

知っていますか？

協力隊

町地域おこし協力隊 活動報告会

都市地域から町に移住し、日々奮闘する隊員たちの活動体験談をこの機会にぜひ聞いてください！

日時 12月19日(月) 18時

会場 いきいき4・6 交流センター



食と観光振興担当
鄭延雪さん
【苫小牧市から】



森林ガイド担当
野田和規さん
【佐賀県から】



観光振興担当
安田裕太郎さん
【札幌市から】



アイヌ文化振興担当
乾藍那さん
【札幌市から】



観光振興担当
高島勇揮さん
【札幌市から】



観光振興担当
羽地夕夏さん
【東京都から】



文化芸術担当
山岸奈津子さん
【札幌市から】

問い合わせ先：企画財政課 企画統計グループ ☎82-2714

地域おこし協力隊通信



鄭延雪さん(34)
食と観光振興担当(4年目)

ふと気づくと、白老での滞在は4年目になりました。現在も協力隊として活動していますが、所属は白老観光協会になります。水際コロナ対策の緩和に伴って、各国の訪日客が増えてきました。SNSで白老町に関しての問い合わせも多くなっています。「白老に行ってみよう、国内をはじめ中国語や英語による魅力発信のスキルを磨いています。観光インフォメーションセンターは、最新の観光情報や季節ごとの情報を提供するおしゃれなボードを館内に設置するなど、行き届いたサービスを心掛けています。同時に、一瞬でも旅の疲れを忘れてもらいたいと、リラックスタイムできる雰囲気づくりに努めています。

滞在4年。年々白老が好きになっています



白老は町を歩いていると、キツネや鹿などの野生動物(たまに熊も出没しますけど)を見かけ、空気はおいしく、住環境も静かです。人々は言語、肌の色に関係なく、ありのままに受け入れてくれるとても優しいまちです。今までもいろいろな方にお世話になりました。素晴らしいご支援に感謝しますが、いざれ任期も終了しますが、これは私にとって終わりではなく、白老での輝く未来へ向けた新しい船出です。



外来患者用車いすを増台しました

町立病院はこのほど、外来患者用の車いすを3台増台し、合計7台体制としました。これまでは外来診療時間帯によっては車いすが足りなくなり、ご迷惑をお掛けすることがありました。

ひとりでも多くの車いすの必要な患者さんが安心して診療や検査を受けていただくために、今後も既存の車いすのメンテナンスや更新を続け、安心・安全な医療の提供を目指してまいります。



問い合わせ先：町立病院 ☎82-2181